

奈良女子大学生協 Beauty Health Lab (BHL)

取り組み概要

日時：6/24~6/28 13:00~16:30

場所：奈良女子大学

フリースペース 国際交流プラザ

参加者数や組合員の反応：参加者アンケートに39名が回答し、全員が企画に満足と回答していた。

背景や概要：健康に対する関心はあるが、実際に改善のための行動をするきっかけがない組合員に向けて、自分の健康状態を知ってもらおうブースを複数用意した。



[健康と安全]

健康体でEnjoy Life 一歩一歩ヘルシーライフ

POINT.1

複数のブースで多角的な健康の改善に



食生活相談、アルコールパッチテスト、肌チェック、ベジチェック、特設ブースの5つのブースを設置し、企画を行いました。本年度の特設ブースでは、組合員が学生委員と一緒に動画を見ながらストレッチを行いました。複数のブースを設けることで組合員が多角的に自分の健康を把握できる機会になったと考えられます。

また、毎年実施されている取り組みの中でも、その年の組合員のニーズに合わせたブースを設置している点が教訓的であるといえます。

POINT.2

参加した組合員と共に作成するポスター

ベジチェックのブースでは、参加した組合員が測定結果をシールで貼るためのポスターを作成しました。このポスターを活用することで、自分の健康状態を他の組合員と比較してより客観的に捉えることができると考えられます。

また、組合員の参加によってポスターができあがっていくため、企画の盛り上がりが目に見えてとてもよい工夫であるといえます。



POINT.3

企画開催と内容を知らせる情報発信



学生委員会が運営するSNSなどを活用して、情報宣伝を行いました。Instagramでは企画当日の1週間前から設置するブースについての説明を毎日投稿することで、企画実施の周知と企画内容の理解という両側面から組合員にお知らせすることができていました。

企画当日の昼休みにも宣伝することで、その日学校にいる組合員の参加を促すことができていました。

計画的な情報発信と丁寧な詳細説明が多くの組合員の参加につながったと考えられます。